



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場会社名 タカラスタンダード株式会社
 コード番号 7981 URL <https://www.takara-standard.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 岳夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理部長 (氏名) 梅田 馨
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6962-1531

2019年11月29日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	101,067	8.8	8,307	51.4	8,574	49.5	5,868	54.7
2019年3月期第2四半期	92,925	△1.7	5,485	△18.5	5,734	△17.7	3,794	△18.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5,440百万円 (58.0%) 2019年3月期第2四半期 3,442百万円 (△33.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	80.24	—
2019年3月期第2四半期	51.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	257,540	166,475	64.6	2,276.18
2019年3月期	248,698	162,038	65.2	2,215.50

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 166,475百万円 2019年3月期 162,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2020年3月期	—	17.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	196,300	1.6	12,300	4.2	12,700	3.8	8,500	2.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	73,937,194 株	2019年3月期	73,937,194 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	798,788 株	2019年3月期	798,560 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	73,138,477 株	2019年3月期2Q	73,138,903 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速の影響により輸出に弱さが見られるものの、個人消費や設備投資を中心とした内需が底堅さを維持し、緩やかな回復基調で推移いたしました。

住宅市場におきましては、新設住宅着工戸数は前年を下回る水準となったものの、政府による住宅取得支援策や住宅ローンの低金利などを背景に、リフォーム需要は回復傾向にて推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループは、業界最多のショールームを活用した流通業者との合同展示会やリフォーム相談会などの販売促進活動を積極的に行い、需要の掘り起こしに努めてまいりました。また、当社のパートナーショップを中心とした取引先を対象に、リフォーム営業における提案力向上を支援するセミナーを全国各地で開催するなど、リフォーム需要の獲得に繋がる取り組みにも注力してまいりました。

ショールーム展開につきましては、都市部での営業強化並びに地域密着営業の強化を目的に、「立川ショールーム」(東京都)の移転・新装や、「石巻ショールーム」(宮城県)の全面リニューアルを実施するなど、引き続きショールームの充実を図ってまいりました。

また海外においては、ベトナム最大級の建設系展示会「VIETBUILD 2019」に出展するなど、当社独自の「高品位ホーロー」を積極的に訴求し、アジア諸国での認知度向上に取り組んでまいりました。

以上の諸施策の推進に加え、2019年10月の消費税増税前の駆け込み需要が想定よりも上振れしたこともあり、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,010億6千7百万円(前年同四半期比8.8%増)、営業利益83億7百万円(同51.4%増)、経常利益85億7千4百万円(同49.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益58億6千8百万円(同54.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①住宅設備関連事業

当セグメントの売上高は1,009億3千7百万円(前年同四半期比8.8%増)、営業利益は82億1千3百万円(同52.0%増)となりました。

当セグメントの製品部門別の状況は、次のとおりであります。

a キッチン

新築市場、リフォーム市場ともに順調に売上が拡大し、特にリフォーム市場においては中高級シリーズ「レミュー」・「エマージュ」を中心にホーローシステムキッチンの拡販が進んだことから、売上高は589億3千7百万円(前年同四半期比9.4%増)となりました。

b 浴室

新築市場、リフォーム市場ともに順調に売上が拡大し、特にリフォーム市場においては中高級シリーズ「プレデンシア」・「レラージュ」及び「ぴったりサイズシステムバス」の拡販が進んだことから、売上高は239億4千8百万円(前年同四半期比10.0%増)となりました。

c 洗面化粧台

新築市場、リフォーム市場ともに順調に売上が拡大し、特にリフォーム市場においては中級シリーズ「ファミリー」を中心にホーロー洗面化粧台の拡販が進んだことから、売上高は108億8千6百万円(前年同四半期比8.5%増)となりました。

②その他の事業(倉庫事業及び不動産賃貸事業等)

売上高は1億9千8百万円(前年同四半期比3.4%増)、営業利益は9千3百万円(同12.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ88億4千2百万円増加し、2,575億4千万円となりました。主な増加は、現金及び預金47億4千4百万円、受取手形及び売掛金36億1百万円、たな卸資産17億8千2百万円であり、主な減少は、有形固定資産9億3千3百万円、投資有価証券6億9千3百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、主に流動負債の増加により、前連結会計年度末と比べ44億4百万円増加し、910億6千4百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ44億3千7百万円増加し、1,664億7千5百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益58億6千8百万円であり、主な減少は、剰余金の配当11億7千万円、その他有価証券評価差額金4億7千2百万円であります。

この結果、自己資本比率は64.6%（前連結会計年度末は65.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に発表いたしました連結業績予想については現時点で変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,007	69,751
受取手形及び売掛金	52,042	55,643
電子記録債権	7,577	7,152
商品及び製品	8,918	10,402
仕掛品	1,839	2,056
原材料及び貯蔵品	3,631	3,713
その他	319	787
貸倒引当金	△33	△36
流動資産合計	139,303	149,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,206	27,501
土地	40,610	40,239
その他(純額)	16,557	16,699
有形固定資産合計	85,374	84,440
無形固定資産	1,527	1,540
投資その他の資産		
投資有価証券	14,545	13,852
その他	7,947	8,236
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	22,493	22,088
固定資産合計	109,395	108,070
資産合計	248,698	257,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,822	23,581
電子記録債務	11,499	16,312
短期借入金	9,700	9,700
未払法人税等	2,428	3,232
その他	13,055	13,298
流動負債合計	61,506	66,124
固定負債		
退職給付に係る負債	23,176	23,039
その他	1,977	1,901
固定負債合計	25,153	24,940
負債合計	86,659	91,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,356	26,356
資本剰余金	30,736	30,736
利益剰余金	102,970	107,836
自己株式	△933	△933
株主資本合計	159,131	163,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,639	5,167
繰延ヘッジ損益	△14	△13
土地再評価差額金	602	434
退職給付に係る調整累計額	△3,319	△3,109
その他の包括利益累計額合計	2,907	2,479
純資産合計	162,038	166,475
負債純資産合計	248,698	257,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	92,925	101,067
売上原価	59,433	63,511
売上総利益	33,492	37,555
販売費及び一般管理費	28,007	29,248
営業利益	5,485	8,307
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	245	250
その他	44	56
営業外収益合計	293	309
営業外費用		
支払利息	31	31
その他	12	10
営業外費用合計	44	42
経常利益	5,734	8,574
特別利益		
固定資産売却益	—	136
特別利益合計	—	136
特別損失		
固定資産除却損	94	126
固定資産売却損	—	21
投資有価証券売却損	—	8
西日本豪雨復興支援費用	33	—
特別損失合計	128	156
税金等調整前四半期純利益	5,606	8,554
法人税等	1,812	2,686
四半期純利益	3,794	5,868
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,794	5,868

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,794	5,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△562	△472
繰延ヘッジ損益	3	1
土地再評価差額金	—	△167
退職給付に係る調整額	208	209
その他の包括利益合計	△351	△428
四半期包括利益	3,442	5,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,442	5,440
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	住宅設備関連				
売上高					
外部顧客への売上高	92,774	150	92,925	—	92,925
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	40	40	△40	—
計	92,774	191	92,966	△40	92,925
セグメント利益	5,402	83	5,485	—	5,485

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	住宅設備関連				
売上高					
外部顧客への売上高	100,937	130	101,067	—	101,067
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	67	67	△67	—
計	100,937	198	101,135	△67	101,067
セグメント利益	8,213	93	8,307	—	8,307

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。